



## 生活介護2班外出

(R4.6.30 アンジュールハウス)



## 生活介護5班外出

(R4.6.30 上弦の月・紅さんざし・Oishi)

# 里だより

No.367

令和4年8月1日

—発行—

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



ありがとうございます。  
編集後記……………9

行事予定……………8

サービス向上委員会より  
行事報告……………6

職員より・事務局より……………5

相談より……………4

サビ管より……………2

施設長より……………1

(ページ)

八月号もくじ



つくしの里 ホームページ

<http://www.tsukushinosato.or.jp>



## 施設長より



五月下旬より減少していた県内のコロナ感染が六月中旬より少しずつ増え始め、七月に入る頃には急増しています。当施設がクラスターを経験したのは、県内の一週間の感染者累計が七千人を超えた二月初旬。七月十三日現在では、一万二千人となり、その増え方に驚きを隠せません。いっどこで感染してもおかしくない状況にあります。また、この感染率の高さから、もし施設内で拡大した場合には、前回の経験など皆無に等しいのではないかと不安もよぎります。当施設では県が進めている職員を対象にした週一回の抗原検査を実施していますので、早めの感染拡大防止につながりたいと思います。



夏秋にイベントを実施予定の主催者も再検討に入られているのではないのでしょうか。この時期、お盆に外泊をされる利用者さんは、ご家族のお迎えがあるかどうかということが頭の中を埋め尽くすようです。「お母さんは迎えにこらす?」「コロナはいつ減るとね?」「コロナは何で無くならんとね?」職員も明確に答えられず、しどろもどろです。

さて、七月に虐待防止委員会を行いました。身体拘束防止委員会も兼ねての実施です。委員会には、生活介護一〇五班の利用者代表も参加されました。利用者自治会の「どぎゃん会」は、自分たちの生活をより良くしていこうと、日常のあらゆることが議題として挙がりますが、虐待防止委員会に関しては、虐待の芽となるもの、その可能性と思われるものから拾い上げる必要があります。以前、本誌でも取り上げましたが、まずは職員が虐待について知識を持ち深めること。虐待とはどのようなものかを利用者に説明できること。虐待をしないと宣言し守られること。利用者さんの生活と、それを直結又は照らし合わせ考えることが必要となります。会の中で利用者さんの意見を聞いていると、福祉の職に身を置くものとして、基礎中の基礎である左記の「バイステイック七原則」を常に意識しておかなければならないと身につまされる思いでした。

- ① 個別化の原則
- ② 意図的な感情表現の原則
- ③ 統制された情緒関与の原則
- ④ 受容の原則
- ⑤ 非審判的態度の原則
- ⑥ 自己決定の原則
- ⑦ 秘密保持の原則

今回は詳細には触れませんが、利用者さんの声なき声を聴くために、経験年数が長い職員ほど、振り返ってほしい基本姿勢です。

施設長 松永一博

## サビ管より

### 職場体験



まだまだ暑い毎日。熱中症アラートが連日発令されています。通勤・退勤中に登下校している小・中学生を見ると熱中症にならないか心配します。冷房の効いた車内で「暑い」「暑い」と言っている自分に反省する日々です。

さて、私には中学二年生の娘がいます。先日、その娘が学校の授業の一環として、三日間の職場体験に出かけました。体験する職場を決めるにあたり悩んでいたようで、どこにするかを私に尋ねてきました。私は娘に、

- ① 自分が将来何になりたいか？
  - ② 将来何をしたいか分からないのであれば、今、何を体験してみたいか？
  - ③ 将来自分がしたい職業とは別に、経験してみたいものはあるか？
- の三点を踏まえ、決めるのは娘自身であることを話しました。結果として、某ファーストフード店に職場体験に行くことに決まったようです。親として、相談や悩みに対し、いろいろアドバイスをしますが、最終的に結論を出すのは娘であり、自分で決めることの大切さや責任を感じてもらえれば、大きな経験になります。
- また、職場体験が始まる前日、職場体験をする上で大事なことを伝えました。
- ① きちんと大きな声であいさつをする

② 必ず返事をする

③ 「ありがとうございます」を言う

④ 笑顔でいる

⑤ 言われたことはきちんとする

⑥ わからないことは尋ねる

⑦ 言葉遣いはきちんとする

中学生であろうと、社会の一員として仕事を学ぶわけですので、必要な礼儀を今のうちに少しでも身に付けてもらい、将来、働く時に苦労しないようにと思う親心からでした。

そして、もう一つ感じてもらいたいことは「働く」ということです。働いた対価として賃金を得る。得た賃金で生活をする、食事をする、物が買える、遊びに行ける、したいことができる、学校に通い部活もできる。働くこと＝生活の糧となっていること、働いてお金を稼ぐことがどれほど大変なのかをほんの少しでも感じてもらえればと思います。娘にとって大きな成長にもなるし貴重な経験になります。

そうはいつでも、まだ中学生。これから必要なお金は親が出します。学校に行き勉強し、将来のためのたくさんの学びや知識を培っていくことが娘なりの中学生という仕事だと思えます。親としての仕事は、子供を一人前の大人に育て上げ、一人前の社会人として送り出すために働いて生計を立てることだと私なりに思っています。

娘の職場体験を通して「働く上で大事なこと」「働くということ」がどれだけ大変で大切なものか、私自身も振り返ることができました。何のために働くのか、自分がなぜこの仕事を選んだのか、仕事を通して何を学び、何をやり遂げたいのか。

『初心忘るべからず』まさにこの言葉が自分の胸に突き刺さった出来事でした。

支援係長 竹下 幸樹

## 施設 PR 委員会 今月の 1 枚！



暑い日や雨の日も運動を頑張っています！  
館内強歩中の笑顔です(\*´▽`\*)

## お知らせ

### 居室床の改修工事をしました



車椅子やベッドを使われている利用者さんの居室を畳からフローリングに改修しました。



### つくしの里のインスタグラムを開設しました

試運転を経て、7月1日から正式にインスタグラムの投稿を行っております。

各班、行事、給食、サービス向上委員会など施設の様子をお知らせいたします。

インスタグラムを登録し、下のQRコードを読み取るか、インスタグラムのアプリから「つくしの里」で検索すると、ご覧いただけます。

フォローと「いいね」お待ちしております。



## 相談より

### 福祉のプロとして



私事ですが、つくしの里に入職し、十九年が経過しました。各班に所属し、グループホーム担当を経験し、現在は相談員として勤務しています。最初から計画的に各班を回った訳ではありませんが、結果としていろいろな経験が積み重なり、今に生きている部分もあるのではないかと思います。

先日、子どもさんの療育先を決める為の事業所見学に同行した時のことです。三か所見学をされ、そのうちの二か所を利用したい意向があり、一か所は決まったのですが、なかなかもう一つが決まりませんでした。お母様が「○○事業所の活動内容はいいなと思ったのですが」と何か言いたげな様子があった為、「何か引っかけ部分がありましたか」と尋ねたところ、見学中に不安定になっていた他の子どもさんへの職員の対応に関して話がありました。その場面では、一人の子が不安な様子で周囲の物を投げるといふ行為に至り、結構危険な物まで飛び交っていました。見学者がいる状況で、なかなか注意しづらかったのかもしれない。見守るだけで、私自身にも違和感がありました。お母様からは「療育事業所の一覧には言語聴覚士がいたり、保育士がいたり、資格を持った方の人数が記載されています。(その場面を見た時に)とても専門的な支援をしているように見えませんでした。見守りだけならアルバイトの方でもできますよね?」との言葉がありました。対応していた職員は新人で、まだどう対応して良いか、自

分で判断することが難しかったのだと思います。しかし、保護者(利用者)の立場からすれば、新人でもベテランでも関係ありません。一職員として、支援のプロと見られます。そのやり取りの時に感じたのが、私自身も含めて、つくしの里はどうだろうかということだと思います。どこを切り取ってもプロフェッショナルな支援をできているのでしょうか?

つくしの里の新人職員は約二週間の実習を経て、四月一日から正職員となります。職員になったその日からプロとしての知識や技術が身につく訳ではありません。失敗も含めて、様々な経験値が自信となり、力になっていきます。長くいる職員はその積み重なった経験に研修などの知識も加わって、臨機応変な支援ができていくのだと思います。

私自身、相談員を始めた頃は何かから勉強したら良いのか分からず、とにかく経験を積むしかないと思い、目の前の相談に一つひとつ向き合うことにしました。必要に迫られれば、いろいろな人に聞いたり、インターネットで調べたりするしかありません。頼られれば、いかに満足してもらえるか、いかに安心してもらえるかを最優先に考えました。その為には期待に応えられるだけの自分になっていかなければなりません。そういう意味では、プロとしての支援ができていくかよりも、プロとしての自覚を持って仕事をしているかどうかという部分が重要だと思いました。

つくしの里の中ではベテランの部類になりましたので、こうしたことも若い職員に意識してもらいながら、自分自身ももっと頼りにしてもらえるように努力していきたいと思えます。

相談支援専門員 井上 真次

## 職員より



私は、食事形態が常食ではない方の担当をさせて頂く機会が多く、嚥下や食事についてとても興味があります。栄養補助食品や「とろみ」の取り扱いをしている会社や歯科医師会の研修に参加したり、施設に言語聴覚士さんが訪問される際の担当に志願したり、少しずつ勉強しています。人は生きていくために栄養として食べ物を取り入れています。それだけではなく、食べるという事に楽しみや生き甲斐を感じます。食事形態がある方にも、どうやったら食事を楽しんで頂けるのか考えています。

メニュー表を作り、とろみをつけたジュースでカフェの真似事をしたり、プリンやゼリー、杏仁豆腐など並べてデザート店をしたり、少しではありますが、楽しい企画をやっていきます。食べる事が少しでも楽しくなるように、また安全に食事出来るように日々取り組んでいきたいと思っています。(支援員 松若)

私事で大変恐縮ですが、つくしの里へ入職し早11年。今年度は10年ぶりに生活介護4班へ配属されました。緊張している私に、温かい言葉を掛けて下さる利用者の方々に心より感謝しています。

「十人十色」という言葉がありますが、人の数だけ異なる考え方があり特性も千差万別です。利用者さんにとって良かれと思って行動した事が結果的にマイナスになる事もあるかも知れません。今年度の個人的な目標として「意思決定支援」という言葉を意識して利用者支援に取り組んでいければと考えています。利用者さんやご家族の心情に寄り添い、「利用者目線」に立った支援が行えるよう日々の関りを大切に、利用者お一人お一人が生きがいを持ち安心・安全に生活出来る環境づくりに努めて参ります。(支援員 外山)

## 事務局より

今年の梅雨は短く少雨で、梅雨が明けたかと思うと急激な酷暑のため体がついていきません。かつてないほどの暑さで、年々猛暑が強まっていると感じます。本格的な夏はこれからですが、私は早くも夏バテ気味です。この猛暑を乗り切るために、今年初めてハンディファン(携帯用扇風機)を購入しました。また、のどが渇く前に水分補給をしたり、保冷剤をタオルにくるんで首に巻いたりして対策をしています。皆さまは何か熱中症対策をされていますか?

さて、事務局の窓からは利用者さんが強歩をしている姿などが見えます。職員と楽しそうに話しながら歩いたり、黙々と自分のペースで歩いたりそれぞれです。「今日はたくさん歩いたよ!」と教えてくれる利用者さんもいます。夏の暑さに負けていない姿を見習って、私も運動したいと思います。(事務員 黒田)

### ～地域交流委員会活動報告～

大津北小学校と相談して、児童の下校時の見守りを行いました。

利用者さんと職員で協力し、一緒に頑張りました!



## サービス向上委員会より



### ■ 介護技術委員会【主任支援員 池田あ・支援員 甲斐・池崎】

介護技術委員会では、利用者様への安心安全な介助と支援、職員の身体の負担軽減を目指しています。主に動画を見てより良い介助技術を学ぶことから始めています。動画にはボディメカニクスや古武術などがありますが、一つの技法に囚われずに、複数を織り交ぜて取り組まれているところが多いようです。委員会として、職員に望ましい支援や介助方法を示したいのですが、利用者さん、職員とも、体力や身体能力、姿勢等は様々で、容易にマニュアル化ができず暗中模索しているところです。

最終的には、介護予防や利用者さんの自立した動作を引き出せるようなスキルを身につけたいと思います。  
(主任支援員 池田あ)

## 行事報告 ※ 6/21 (火) ~7/20 (水) の実施分について報告いたします

### ★ 大津町障がい者施設利用者作品展覧会【6月20日(月)~30日(木)大津町役場】

コロナウイルス感染症の影響で中止になっていた大津町展示会ですが、今年度は2年ぶりに開催する事ができました。これまで大津町図書館で開催していましたが、今回は新築された大津町役場が会場でした。例年より展示スペースは狭くなってしまいましたが、利用者さんが心を込めて作った作品を展示し、沢山の方々に観て頂く事ができました。役場を利用されている方に「つくしの里さんですか?」「これは利用者さんが作ったんですか?」「細かくてすごいですね」等と声を掛けていただきました。

今後も利用者さんの作品をもっともっと沢山の方に観て頂く機会が増えればいいなと思います。足を運んで下さった方々ありがとうございました。  
(支援員 東)



見学に行かれた利用者さん達は、展示された自分の作品を見て、とても嬉しそうでした♪

★ 生活介護②班外出【6月30日（木）アンジュールハウス】

熊本市北区にあるアンジュールハウス（結婚式場）を貸し切りにしてもらい、利用者さん6名、職員4名で豪華なコース料理をいただけてきました。今回のグループは食事形態がミキサー食、刻み食、荒刻み食、常食でしたが、その対応を快く引き受けてもらい豪華で美味しい料理と居心地よい空間を用意してもらいました。利用者さんは次々に出てくる料理に「美味しいね」「次は何がくるかな」とワクワクされていました。食事形態がある方も常食と変わらないくらい綺麗な盛り付けを工夫してもらい笑顔いっぱいの食事会となりました。

コロナ禍で外出が久しぶりだったので、オシャレをして出掛ける事も楽しまれたようです。今回は外出する事が出来ましたが、早くコロナ前のように安心して外出や外食が自由に楽しめる日が来るとよいと感じました。  
(支援員 松若)



【魚料理】 左から  
常食・刻み(荒刻み)  
食・ミキサー食



★ 生活介護⑤班外出【6月30日（木）上弦の月・紅さんざし・Oishi】

繁忙期を乗り切り、皆さんの要望が多かった三加和温泉に出かけてきました。コロナ禍の外出は「ちょっと？」との心配もあり、利用者さんを小グループに分け、少しリッチな家族風呂に入って頂きました。和室の休憩室に、内湯と露天風呂の両方があり、露天風呂では草木や花の香り、鳥の声などを楽しみながら、いつもと違う雰囲気笑顔が絶えず、特別な入浴を体験できました。利用者さんの中には、いつもはカラスの行水なのに長くお湯に浸かって、私達を「ハラハラ」させる方もいらっしゃいました。

昼食は、菊池市で有名なレストランを貸し切り、思い思いの料理に舌鼓を打ち、カメラを向ければ皆さん笑顔でポーズを決めてくださいました。食事の後は移動用の車内で昼寝をしたり、利用者さん同士で思い出を話したり、いつもと違った一日を楽しむ事が出来ました。今後も利用者さんの想いに寄り添った支援を行っていきたいと思います。

(支援員 後藤)



## ★ バイキング昼食会【7月5日（火）つくしの里】

今年度の第1回目のバイキング昼食会はデザートバイキングでした。色とりどりのゼリーに可愛らしいタルトやケーキ、豪華なフルーツ、シュークリームタワー…見ているだけでテンションが上がりますよね。皆さん「美味しそう」「どれにしようかな」とキラキラした目で選んでいらっしゃいました。中には、お酒と一緒に大人な楽しみ方をされる利用者さんも。デザート以外にもピザなど普段は食べる機会が少ないメニューも堪能され、笑顔が溢れるバイキング昼食会になりました。（支援員 池崎）



アフタヌーンティーをイメージしました。特に、シュークリームタワーは大好評でした ♡



## 行事予定



### ☆ 開園記念祭（つくしの里）

期 日：8月1日（月）

内 容：特製弁当とアイスクリームで記念日を祝います。新型コロナウイルスの感染拡大でセレモニーは中止ですが、思い出話しをして楽しい一日にしたいと思います。

### ☆ 通帳確認（つくしの里）

期 日：8月8日（月）～19日（金）

内 容：当初の予定から期間を一週間延長しました。別紙文書をご確認のうえ、ご都合が悪い場合は担当職員までご連絡下さい。

### ☆ 生活介護④班イベント（清流荘）

期 日：8月25日（木）

内 容：貸し切りで、ゆっくり温泉に浸かって、おいしい食事を楽しむことができます。

※ 新型コロナウイルス流行の状況によっては予定を変更する場合があります

# ありがとうございました

今月の掲載分は、

令和四年六月二十一日

令和四年七月二十日です



## 【寄付・寄贈】

- ・岩根 治美 様
- ・大島 照雄 様
- ・田中 幸一 様
- ・光永 順子 様
- ・渡辺 昭子 様
- ・川上 信代 様
- ・長野 歯科 様
- ・三協化研 様
- ・日清医療食品株式会社 様
- ・つくしの里保護者会 様
- ・江頭 勝 様
- ・久保 昭憲 様
- ・藤田 孝志 様
- ・向井 明彦 様
- ・平田 靖人 様
- ・ほつこりの里 様
- ・小竹組 様

## 【ボランティア】

- ・村里 和洋 様

誠にありがとうございました。  
利用者さんの為に使用させて頂きます。



## 編集後記

七月は、猛暑に戻り梅雨と、小まめに  
気象状況をチェックする日々でした。

コロナウイルスも猛威を振るっていま  
すが、利用者さんの外出は、家族風呂を  
利用し、レストランを貸し切りにしても  
らうことで実施できました。

集団生活での感染症の流行は防がなけ  
ればなりません。今のところ、国から  
は行動制限をしない方針が示されている  
ので、感染対策を図りつつ、利用者の皆  
さんが外出を楽しめる方法を模索してい  
きたいと思えます。

※お詫びとおことわり  
里だより担当では、毎月十分注意して  
記事の記載、確認をしておりますが、誤字  
脱字等がございましたら何卒ご容赦して  
いただきたく存じます。

暑中お見舞い申し上げます

暑い日が続くようです

くれぐれもご自愛ください

